

起因物、事故の型：木材、竹材 - 飛来・落下の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	8～9	トラックに積み込んでいた廃棄物を降ろす為に、後ろの荷台を開けたら木枠（1mぐらいの四角）が落ちてきて鎖骨辺りにぶつかった。	50	150102	10～29
1	14～15	新築住宅工事現場で余剰となった建築資材の回収作業中、耐力壁（t9mm、900×4,000、約20kg）を平置き状態から立掛状態にし、搬出方向に方向転換したところ、板厚を持った手袋が滑り、左足指先に落下し負傷した。	64	30202	1～9
1	17～18	倉庫にて商品の整理をしていた際、120cm四方位・厚さ10cm位の板が右足の甲に倒れてきた。	22	80203	10～29
1	9～10	被災者は、修繕工事による現場付近歩行者誘導業務中、現場作業員が足場を移動していたため、持ち場を離れて移動先の通路（階段5～6段）に歩行者がいるかどうかの確認を行った。歩行者がいないことを確認して持ち場に戻ろうとして振り返った際、強風に煽られた木製のコンパネ（縦約1m、横約2m）が飛んできたため、咄嗟に右手を出して防ごうとしたところコンパネのふちで右手親指を切り負傷した。	45	170201	100～299
1	16～17	展示会の撤去作業時、ブース内で梱包作業をしていたところ、頭上で大工2名が木工ボード（柱）の取り外しを行っていた。その際、ボード（全長約9m）の中心部分の連結がはずれ、一方が振り子状に落下し、後頭部に直撃した。	22	170209	—

1	14~ 15	製材所へ運搬する丸太の積み込みを終えた運転手が、本数を検知していたとき、フォークリフトを使用して椴積作業中の技能班員が長さ4m・径約26cmの丸太を積載して走行中、すでに椴積されていた高さ4mの椴山の最上部に誤って衝突し、運転手の首後部にものが落ちてきて負傷した。	42	60209	1~ 9
2	11~12	店内木材加工室においてスライドソーを使って木材をカットしていたところ、スライドソーに立てかけてあったフロー材に手が触れてしまい、それが落下した。その際、左足指に当たり怪我をした。	33	80209	50 ~ 99
2	14~15	中間処理工場内で仕分作業中、木くずを投げて仕分けしており、ヘルメットもかぶらず周囲も確認せず木くずをなげ、被災者の顔に当たり怪我をした。	22	150102	1~ 9
2	15~16	現場において竹の伐採作業中、8m離れた所で枯れた竹を伐採する者がおり、その伐採した竹が倒れた際、被災者のヘルメットをかぶった頭に避ける間もなく倒れ落ち負傷した。	62	60209	—
2	11~12	自社倉庫にて、型枠を製作中、倉庫にある型枠を使う為バールで解体中、板がめくれると同時に異物のはじかれて目に刺さり左目を負傷した。	43	30209	1~ 9
3	13~14	倉庫内で出荷する木材の取り出し中、ラック上に積まれた木材の上段部分を取り出したときに、その下にあった木材が崩れて落下し、左足首に当たり受傷した。	47	10409	50 ~ 99
3	17~18	産業廃棄物の中間処理を行っている工場で作業員として作業時の事故である。プラント中にある手選室で、選別作業終了後、コンベアの先に取り付けてあるスクラップを取り除く為の自選機があって、自選機コンベアの引っ掛かったスクラップを取り除こうとして角材を持って処理した際、持ってた角材を動いているコンベア内側に落とし、その落とした角材がすぐ近くで回っているローラーに巻き込まれ一回転し、ローラー近くにあった左手首付近を直撃強打し、手首を痛めた。	68	150102	10 ~ 29
3	22~23	お客様への貸出用傘を取りに分電盤室へ入室しようと扉を開けた際、室内に立て掛けていた長机が倒れ、顔面に直撃し、左の目頭付近に約2.5cmの裂傷を負った。	26	140309	10 ~ 29

3	14~15	解体現場内で搬出する木材を重機でコンテナに集積していたところ、木材が重機のアタッチメントに挟まり、取ろうとして重機アタッチメントを上に向けて、その下に入り、人力で外そうとした勢いで、コンテナの秤と木材の間に親指が挟まり骨折と裂傷を負った。	51	30201	1~ 9
3	17~18	倉庫において、海上コンテナへの荷出貨物の積み込み作業を行っていた際、貨物を固定する為の角材（60cm×10cm）がパレット上（床面から約80cm）から落下し、作業者の左足に当たり負傷した。	40	50201	1~ 9
3	4~5	工場にて夜間作業中、山留材として使用したコンパネを2tダンプから降ろそうとした時、コンパネを持った手が滑り、ダンプの荷台とコンパネの間に指を挟んだ。	46	30201	10 ~ 29
3	15~16	材木を降ろす際はガッチャをゆるめワイヤをはずすのだが、材木の太さ長さの違いもあり、すでに落ちそうになっていた4mの材木が荷台から落下した。	60	40301	10 ~ 29
3	14~15	単板置場で単板の検品作業中、60cm程の高さに積まれた単板をリングの上に置こうとした時、手が滑って足の上に落とした。安全靴を履いていなかった為、足の甲を骨折した。	67	10402	10 ~ 29
3	9~10	台車で丸太を製材していて、それを台車から降ろす時、重いので二人でさげていたが、手が滑って落としてしまい、左手人差し指を挟んだ。	28	10401	1~ 9
4	16~ 17	作業終了時、あゆみ板を車に積込中、手が滑って足に落下して、けがをしてしまった。	58	30309	1~ 9
4	15~ 16	新築マンション3階から5階へ型枠材を荷揚げ作業中、5階にいる作業員が型枠パネルを持ち上げる際に手を滑らせ、5階から4階約2.9m下へ落下させた。その際、4階作業員が落下してきたパネルにより足を負傷した。	23	30201	30 ~ 49
4	14~ 15	土場内作業（ゴミ仕分）において車両から畳をおろす際に既存の畳おろしの場所の上に置くシートを固定する物150角の角柱木材（長さ1m位）を足下に落下させる。	56	30209	10 ~ 29
		1階の冷蔵倉庫内で、単独で高さ2m程の荷物の上にあるパレット（約			30

4	10～ 11	25kg、1.1㎡) を軍手をはめた両手で降ろそうとしたところ、誤って左足の親指に落としてしまった。	50	80109	～ 49
5	7～8	会社構内において原木積込途中のトレーラーから整備従業員が車両整備のためトレーラーヘッドを切り離すため、トレーラーレースのアウトリガー(ジャッキ)を降ろす作業中、トレーラーレースの左側上部から固定前の原木が落下し、従業員の背面に直撃し転倒し、背骨の一部を骨折した。	66	11701	10 ～ 29
5	15～ 16	会社倉庫にて、セミトレーラー台車上で次の積載荷物の段取り作業中に、台木1本を持ち上げて移動していたところ、他の台木に躓きバランスを崩し右足安全靴前方に台木を落下させてしまい、足の指を骨折した。	32	40301	10 ～ 29
5	8～9	資材置場にて、C柱(長さ1.8m、重さ6.9kg)を運ぶ際に、手に持った際C柱を掴み損ね、右手甲にC柱を落とし負傷した。	30	170209	10 ～ 29
5	2～3	工場内で積み上げられたT字鋼(長さ約6m、重さ約280kg)をクレーンで吊り上げた時、積み上げられたT字鋼がバランスを崩して両足に落下し、右足の外くるぶしを骨折し、左足を打撲した。	67	11209	1～ 9
6	10～ 11	解体木材をダンプ車から降ろす時、後部補助板を外し、移動しようとした時、木材が滑り落ちて胸部を打撲した。	61	30209	1～ 9
6	9～ 10	倉庫内で約3mの木材を移動するため2人で両端を持ち上げた際、手が滑って木材を離してしまい、落ちて来た木材の端が左足の太股と膝に当たった。	41	170209	10 ～ 29
6	9～ 10	事業所作業所内において、椀積みする座の所に立っているL棒にリン木を立てるため、丸太(長さ約3m、直径約5cm)を抱えて、前に置いていた杉材(高さ約50cm)の上に乗った際、バランスを崩して落下し、その場に倒れてしまい、杉(長さ4m、直径24cm)位の丸太1本が右足の膝下から足首までの間に落ちてきて負傷した。	20	80109	10 ～ 29
7	9～10	配達先にて配達物の木材(30～40kg程度)を荷受人と一緒に持って運んでいた所、荷受人が木材を落とし、その反動で本人も木材を落下させ、左	32	40301	10 ～

		足親指付け根にあたる。（安全靴は着用していた。）			29
7	20~21	事務所前にて従業員に、翌日の作業工程の確認のために、倉庫の資材を使い、練習をしていたところ、誤って資材を足の上に落としてしまった。	22	30202	1~9
7	15~16	工場内にて、約2m程先の場所へ材木（コンパネW1200H2400重さ約20kg1枚）を移動させるため持ち上げた際、手が滑り、50cm程上から左足親指の上にコンパネが落下した。	19	10409	10~29
7	16~17	解体工事で排出された木くずをダンプカーで自社焼却施設に運搬搬入し、後ろの扉を開けた際、木片（縦10cm×横10cm×長さ50cm）が左手首に落下し受傷した。	64	30209	1~9
7	6~7	荷物を積み込むため10tウイング車の後ろの観音扉を開けたとき、コンパネ数枚が左足の上に落下し、左足の親指・人差し指・中指を骨折した。	38	40301	—
7	2~3	夜勤勤務中、原木を薄く切削した単板が堆積する機械で、単板が堆積する下に敷板（1m×2m、重さ約18kg）を敷こうとしたところ、敷板が高さ160cm位高く積まれていた。下に降ろすときに手前に傾けたため、右足の上に敷板が落下した。狭い場所で避けることができなかった。	25	10402	100~299
7	16~17	当社薪センターより200m南にある貯木場にて、薪にする丸太を玉切りしていた。その作業中、後方に野積みしていた丸太（長さ約4m、直径約50cm）1本が、約1mの高さから転がり落ち、被災者の右膝に当たり負傷した。発生当時、野積みしている丸太を1本ずつ重機で下ろし、地面で玉切りをする作業を2名で行っていて、転がり落ちるまで丸太はその位置で留まっていたが、何らかの振動で転がったと思われる。	35	80209	1~9
7	12~13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	10409	100~299
7	12~13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	170101	100~299

7	9~ 10	木造住宅内部解体工事現場にて、廃材を室内から屋外に搬出時にバランスを崩し、自分が持っていた廃材を落とした際に、左腕を負傷した。	23	30209	1~ 9
7	11~ 12	被災者は、木工場の製造現場で梱包場所に保管している材料（4.2m×0.5m×3cmの木材）を引っ張り出していたが、長いので途中で持ち手を変えたときに、材料が引っ掛かり、手を滑らせ落としそうになったので、足を避けたつもりが避けた方向に材料の鋭角部分が落下して、右足を強打し負傷した。	31	10503	1~ 9
7	18~ 19	リップソーで作業中、ベニアを4枚置いていた一番上のベニアを取ったとき、下に置いていた3枚のベニアと一緒に浮き上がり、支えようとしたが間に合わず、落ちてしまった。	22	10501	50 ~ 99
9	9~ 10	お店の敷地内の物置で扉が外れ、足に落ちて指先が負傷した。	19	80302	30 ~ 49
9	14~ 15	リサイクル施設に廃棄物を持ち込み、荷降ろしのためトラックのあおりを開けた際、剪定枝（直径30~40cm、長さ1m弱）が、落下して左足に当たり裂傷および左足親指を骨折負傷した。	40	60101	1~ 9
9	11~ 12	倒した外壁と残っている腰壁の鉄筋を切断している時に、壁が反動で下がり腰壁に乗せていた左足の安全靴の上に当たり負傷した。	45	30201	1~ 9
9	13~ 14	倒木処理中、倒木の根元チェーンソーで切断したとき、切断した木が跳ね左足に当たり負傷した。	36	60201	100 ~ 299
9	9~ 10	山林で、伐木造材作業中、重なって伐倒してあった木の上側の木を造材した時に、玉切った木が自分の方へ落ち、左足に当たり負傷した。	47	60209	10 ~ 29
9	9~ 10	新築工事の現場において、家の材料となる30cm四方で長さ4mの角材を大工見習いのAさんと横に移動させていた時に、自分は手を離したが、Aさんが離さず角材のバランスがくずれて、左の甲に落ちた為に負傷した。	35	30209	30 ~ 49

9	9~ 10	敷地内で、木材の荷降ろし作業の準備のため荷物を支えていたラッシングベルトをはずした直後に積荷の丸太が1本頭上に落下して来た、その場で、後ろに倒れた。	57	40302	1~ 9
9	11~ 12	竹炭を作るため、竹山から切り出して運搬用のトラックに積み込む際、トラックに積んだ竹が荷くずれを起こし右足に当たり負傷した。	47	170209	1~ 9
9	8~9	竹林にて綱締め用竹の伐採作業中、伐採した竹を移動する際、誤って自分の左足へ竹を乗せ、左足甲挫傷を負った。	48	70209	50 ~ 99
9	13~ 14	当社作業場において焼き芋に使用する炭窯用の木材（直径30cm、長さ30cm）の整頓作業を行っている時に、誤って手を滑らせ、左足に落とし、てしまい裂創した。	52	60101	30 ~ 49
10	9~ 10	解体工事現場において、ミニ重機を使つての床材の撤去作業中、弓なりになった床板より栈木（5×5×100cm）が外れて飛び、近くで作業していた被災者の左腕に当たり、負傷したもの。	71	30202	—
10	13~ 14	太陽光発電設置工事現場において、丸太を切断中に、誤って右足甲に丸太を落としてしまい、負傷したもの。	32	30302	1~ 9
10	9~ 10	材木搬入現場で、1階から2階の材木（長さ約80の角材）を手渡していたところ、2階の大工さんが手を滑らし角材が1階へ落下した際、顔（おでこ）にあたり、打撲した。	38	40301	10 ~ 29
10	15~ 16	製造現場4号館1階包装室にて、パレット積みされた製品（4段積、高さ150cm）をストレッチフィルムで製品全体をラップする作業において、4段目途中でストレッチフィルム（重さ2.2kg）を巻き、段ボール上段に一度置き、床に置いてあったストレッチフィルム置き用の容器を取ろうとしゃがんだところ、段ボール上段に置いてあったストレッチフィルムが落下してきて左側頭部（耳の上辺り）を直撃した。衝撃により左側頭部から流血した。	53	10803	50 ~ 99
		引越作業中、部屋にあるダイニングテーブルを搬出する為、解体し天板を			10

10	21～ 22	持ち上げた際スライド式の天板だった為、伸びた天板を誤って右足の小指に落としてしまい内出血した。しばらく様子を見たが腫れがひどくなった。（天板の大きさ円形直径1m重さ10kg以上）	32	40301	～ 29
10	11～ 12	基礎ピット内にて型枠解体作業中に型枠解体スペース確保の為、枠組足場を押したところ、足場上に仮置きしていた仮設材が落下して、左手親指にあたり、怪我をした。	43	30201	1～ 9
10	12～ 13	営業所車庫にて積込準備中、重ねてあったコンパネを1枚取ろうとした際2枚目のコンパネも同時に動き落下し右足脛付近に当たり受傷した。	52	40301	10 ～ 29
10	11～ 12	5階倉庫内にて、クリスマス陳列月セット（平板1枚、長い板2枚、短い板2枚）をカゴ車から取り出そうとして、一番上に積んであったものを運ぼうとしたところ、2段目の陳列台セットの長い板1枚が滑り落ち、左足甲、薬指上に落下した。傷みがあった。診断の結果左足薬指にひび骨折と判明。	47	80201	100 ～ 299
10	7～8	乗用車の内装下地（フェルト）置き場にて、荷崩れ、変形を防止するために結束されたフェルトの最上面に乗せられているベニヤ板を、取り外す作業をしていた。ベニヤ板は長さ100cm×幅80cm×厚さ0.9cm重さ約6～8kgで、作業は両手でベニヤ板を掴み、手前に引きながら降ろしかけたところ手が滑りベニヤ板が落下した。ベニヤ板は約1.5m落下し、左足指つけ根を直撃し親指を骨折した。安全靴は、前日の台風で濡れており、事故当日は通勤用の靴を着用していた。	32	170101	50 ～ 99
10	11～ 12	樹木整理業務のため、クレーンに乗り、チェーンソーで樹木（直径30cm）を切断していた際、切断した幹が足に落ちて負傷。	36	60101	1～ 9
10	9～ 10	弊社プレカット木材加工事業部の工場内において朝礼及び作業打ち合わせ等が終わり各自、作業ラインに着こうと移動している時に加工する材を用意して、積み上げていた木材につまずいてしまい荷崩れをおこし1m位の高さから、木材が足の上に落ちて右足の親指を負傷させてしまった。本人の咄嗟の判断ミスを深く反省している。	34	10402	10 ～ 29
		リングパーカーへの投入の作業に従事している被災者が、投入後、投入口			

10	8~9	手前に落ちた皮が気になり、レイキを使ってかきあつめていたところ、スラッシャー上の一本がころがり、ストッパーをこえて、片方が落下、ちょうど真下にいた被災者の頭部に当たり、負傷した。	70	10401	30 ~ 49
11	17~ 18	第5製造所の合成樹脂設備の蒸発器缶出タンクの内容物が異常反応したため、タンク全体が固形物で満たされていた。固形物を取り除くために4名で缶出タンク側面にあるマンホールの開放作業を進めていたところ、マンホールから内容物が急激に噴出し、作業をしていた4名および周辺で作業していた1名が負傷した。	35	40301	100 ~ 299
11	9~ 10	資材（木枠）を荷おろし作業中、資材が崩れその下になり右手人差し指中指骨折、左頬左肩左膝打撲負傷した。	59	40301	10 ~ 29
11	17~ 18	自社木材製材工場において、木材の整理中、クレーンで吊り上げた木材が転がって落下し、胸部が圧迫され死亡したものと見られる。	76	10401	1~ 9
11	23~ 24	車庫で荷物の点検のため、トラックの横のあおりを開け点検中、荷物の木材がバランスを崩してボディーから地面に落ちる途中、右足太ももに当たり負傷した。	57	40301	1~ 9
11	14~ 15	引越荷降作業中、トラックに積んだコンテナ内の荷出しを行っている最中、ベッドマットの間に挟んで積み込みされていた机の棚板が落下しそうになった為、落下を防ごうと咄嗟に右足で受け止めようとした。その際棚板の角が右足に直撃し、爪及び右足親指に打撲を負った。	32	40301	100 ~ 299
11	9~ 10	新築工事現場にて作業中に負傷する。約15kgの木枠パネルを、業務用エレベーターで3階から4階に上げた際に、4階の作業員がパネルを持ち上げようとしたが、何かに手が引っ掛かり、パネルが手を離れそのまま3階に落下した。その際に、3階にいた被災労働者の左母指に当たり負傷する。	70	30201	1~ 9
11	16~ 17	木製パレット補修作業に第2工場に従事している時に、1400×150×22の木板（2kg）1枚を足の甲に落とす。安全靴は履いていたが保護プレートの無い部分に高さ1mから自身の手で持っていた板を滑らせて打撲し	52	10401	10 ~

		た。原因：仕事終了直前で相手作業者との呼吸が合わず、タイミングが狂って手が滑った。			29
12	11~12	被災者が、壁に設置されている棚上のコーヒーカップを取ろうと棚の扉を開けた際に棚が落下し、棚が額の右上に接触し、幅約5cm、深さ3mmを切った。現場にいた係員と主任が被災者を椅子へ座らせて応急処置をし、その後、救急車で病院へ搬送した。棚の大きさは幅120cm、奥行35cm、高さ60cm、重さは15kg程であり、ビスの設置がゆるんで落下したと推測される。	60	140201	~ 49
12	16~17	朝礼時から強風が吹いていたが、午後から風が弱まったため、風の様子を見ながら資材置場で資材整理作業をしていた。突風により、朝礼看板脇に設置済みのコンパネが飛散し、約30m先で作業をしていた被災者にあたった。	46	30199	~ 29
12	13~14	1階で壁面の部材を移動しようとした際に、上部に仮置きしていた2階部分で使用する梁が下にすべり落ち、作業員の左手に当たり受傷した。	27	30209	~ 29
12	9~10	土場で角材（約3m×15cm×15cm）を2人で運んでいた。片側を持っていく人が角材を置こうとしたところ、被災者は支えきれなくなり、そのまま右足の甲に落とした。	37	10401	~ 29
12	8~9	構内で、積荷の合板を降ろしていたところ、右足の親指の上に落下し骨折した。	67	40301	~ 49
12	7~8	積み込み現場で、4.8mの木材（重さ100kg程度）をリフトを使い積み込み中、荷物が濡れていたため、フォークリフトの爪から荷物が落下し、右足に当たり負傷した。	42	170209	1~ 9
12	10~11	路上にてトラックから荷降ろし作業中に、トラック後部の観音扉を開けたところ、コンパネが足元に落下し、足の指を骨折した。原因は、走行中に内部に固定して立て掛けてあったコンパネが傾き、固定しているラッシングバーをすり抜けたこと、注意深く観音扉を開けなかったこと、および安全靴に履き替えていなかったことにある。	49	40301	~ 29

12	12~13	新築工事の玄関の床板に使用する木材を、自社作業場において加工し移動する際に、下に敷いてあった厘木（20cm角×3m）が、高さ80cmの位置から右足の上に落ちてきて負傷した。	35	30202	1~9
12	11~12	畑と山で伐採作業中、切った杉の木（丸物3m程度のもの）が、安全に作業していた中であつたが、足の上に転がり落ち、左足の足底を骨折した。	70	60101	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html